



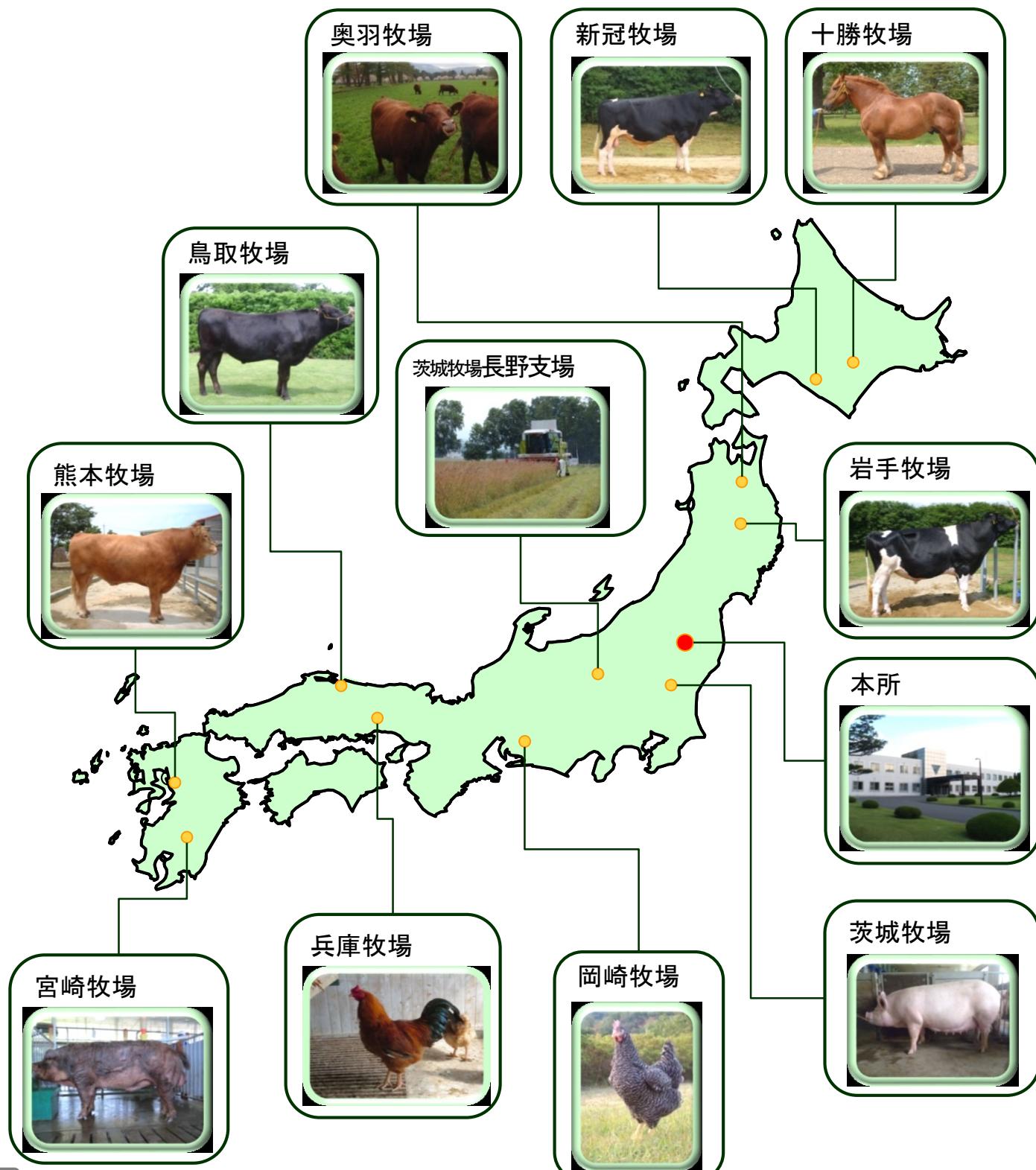
独立行政法人 家畜改良センター

National Livestock Breeding Center Incorporated Administrative Agency

独立行政法人家畜改良センターの取組について

我が国の畜産は、食生活の多様化・高度化等を背景として順調に成長し、生産資材の供給や畜産物の流通等の関連産業を含め、地域社会の活性化や地域経済の維持、国土資源の有効利用等多様な役割を果たしつつ、着実に発展してきました。

家畜改良センター各牧場の所在地とその業務



このような中、当センターは、我が国における畜産の発展と国民の豊かな食生活の確保のために、家畜の生産性向上、品質向上、コスト低減の基盤となる遺伝的多様性を考慮した家畜の改良増殖や飼料作物種苗の増殖等の業務を行っています。

所 在 地		主 な 業 務
本所	<p>〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1 TEL.0248-25-2231 FAX.0248-25-3990</p> <p>(中央畜産研修施設) TEL.0248-25-7060 FAX.0248-25-6755</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・センター全体の企画調整 ・家畜の遺伝的能力評価 ・家畜改良増殖業務の推進・調整 ・飼料作物種苗の増殖業務の推進・調整 ・種畜検査及び種苗検査の業務調整 ・生産衛生に関する調整 ・畜産新技術に関する調査・研究 ・畜産に関する講習・指導 ・牛の個体識別に関する業務
新冠牧場	<p>〒056-0141 北海道日高郡新ひだか町静内御園587-1 TEL.0146-46-2011 FAX.0146-46-2565</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳用牛の改良増殖
十勝牧場	<p>〒080-0572 北海道河東郡音更町駒場並木8-1 TEL.0155-44-2131 FAX.0155-44-2215</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛、乳用牛及び馬の改良増殖 ・飼料作物種苗の生産・供給・検査 ・めん羊に関する技術指導
奥羽牧場	<p>〒039-2567 青森県上北郡七戸町字鶴児平1 TEL.0176-62-3281 FAX.0176-62-3283</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛(黒毛和種・日本短角種)の改良増殖
岩手牧場	<p>〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字穴口72-21 TEL.019-641-2130 FAX.019-641-4725</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳用牛の改良増殖
茨城牧場	<p>〒308-0112 茨城県筑西市藤ヶ谷2330 TEL.0296-37-6511 FAX.0296-20-3020</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豚の改良増殖
茨城牧場 長野支場	<p>〒385-0007 長野県佐久市新子田2029-1 TEL.0267-67-2501 FAX.0267-68-4743</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料作物種苗の生産・供給・検査 ・山羊に関する技術指導
岡崎牧場	<p>〒444-3161 愛知県岡崎市大柳町字栗沢1-1 TEL.0564-46-4581 FAX.0564-46-4587</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏(産卵性)の改良増殖
兵庫牧場	<p>〒679-4017 兵庫県たつの市揖西町土師954-1 TEL.0791-66-0801 FAX.0791-66-0803</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏(産肉性)の改良増殖
鳥取牧場	<p>〒689-2511 鳥取県東伯郡琴浦町大字出上14 TEL.0858-55-1511 FAX.0858-55-2329</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛の改良増殖
熊本牧場	<p>〒865-0073 熊本県玉名市横島町共栄37 TEL.0968-84-3660 FAX.0968-84-3708</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・肉用牛(褐毛和種)の改良増殖 ・飼料作物種苗の生産・供給・検査
宮崎牧場	<p>〒886-0004 宮崎県小林市細野5157-29 TEL.0984-23-3500 FAX.0984-24-0953</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豚及び肉用牛の改良増殖

全国的な視点での家畜の改良増殖の推進

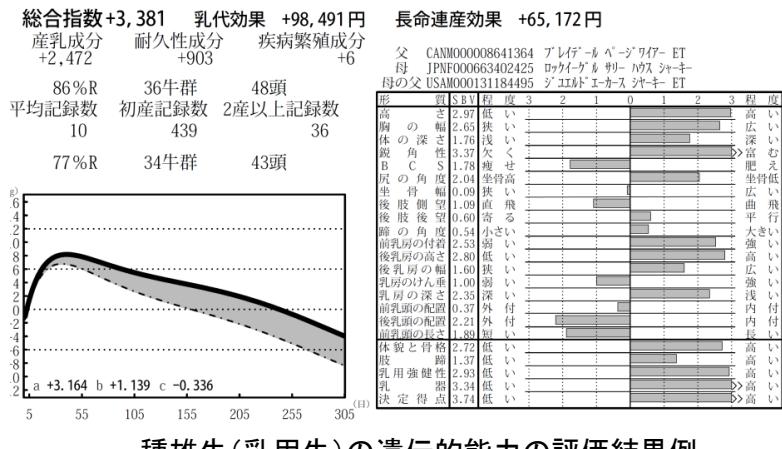
◆ 遺伝的能力の評価

全国的な家畜改良に利用していただくため、乳用牛、肉用牛及び豚について、全国統一基準による遺伝的能力の評価を行い、その結果等を公表しています。

また乳用牛については、国際評価(インターブル)に参加し、国内で供用される種雄牛と海外種雄牛との遺伝的能力を比較するとともに、その結果についても公表しています。

DNA情報を活用した 遺伝的能力の評価

遺伝的能力の高い個体を交配して生産性の高い個体を生産するため、全国で飼養される家畜のデータを分析し、家畜が生まれつき持つ遺伝的能力を推定しています。



種雄牛(乳用牛)の遺伝的能力の評価結果例

種畜の交配に伴う疾病のまん延防止及び優良な種畜の利用による家畜の改良増殖を推進するため、職員が種畜検査員となり種畜検査を実施しています。



肉用牛の種畜検査



馬の種畜検査

◆ 飼養管理の改善

家畜の飼養管理の改善に寄与するため、省力化機器の活用に資するノウハウや、SDGsに配慮した畜産物生産・家畜衛生管理に関する知見を活用した飼養管理の改善の情報提供等に取り組んでいます。



搾乳ロボット等の省力化機器
を用いた群管理技術



代謝プロファイルテストを
用いた飼養管理技術



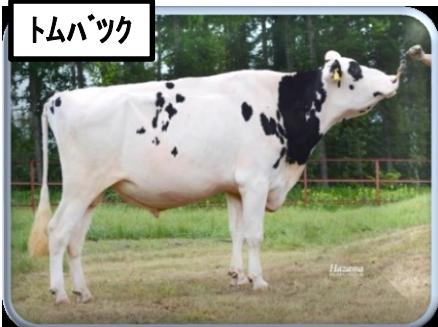
農場HACCPやJGAPに基づく
農場管理技術

◆ 種畜・種きんの生産・供給

国内における遺伝的多様性の確保を図りつつ、多様な育種素材、遺伝的能力評価技術等を活用し、優良な種畜・種きんを生産・供給しています。

- 乳用牛：生涯生産性の向上、泌乳持続性の改善 等
- 肉用牛：遺伝的多様性の確保、1日当たり増体量の改善 等
- 豚：1日当たり増体量の改善、育成頭数の改善 等
- 鶏：産卵率の改善、増体量の改善 等

トムバッカ



生涯生産性の高い乳用種雄牛

貴隼桜



遺伝的多様性に配慮した肉用種雄牛

ユメサクラエース

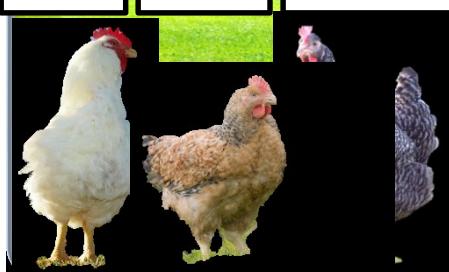


1日当たり増体量に優れる種豚

はりま

たつの

岡崎とうはん



産卵性や産肉性に優れる国産鶏種

◆ 育種素材の提供

多様なニーズに対応した国産畜産物の供給支援として、めん山羊等の育種素材の提供や技術指導を行っています。



サフォーク種(めん山羊)



日本ザーネン種(山羊)

◆ 家畜の遺伝資源の保存

家畜の多様な遺伝資源を確保するため、関係機関との連携を図りながら、遺伝資源の収集・保存を行っています。



名古屋種



宮古馬

畜産新技術の実用化

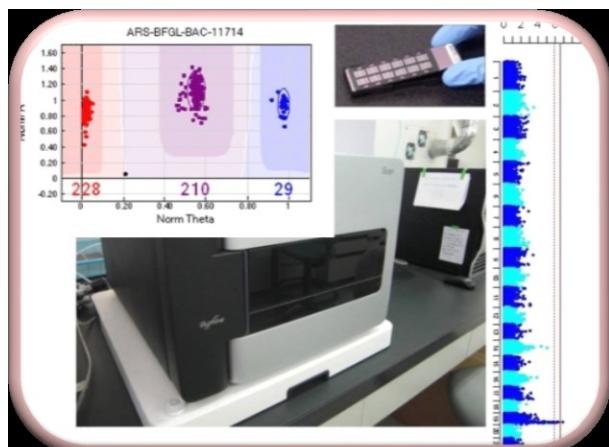
◆ 生産性に影響する遺伝子の解析と選抜への応用

ゲノム情報を活用した育種手法により家畜の改良を効率的に推進するため、各畜種について次の形質に関するDNAマーカーや遺伝子の解析を行っています。

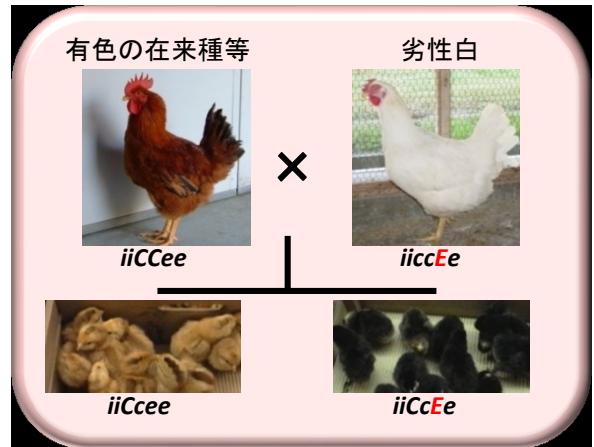
また、遺伝子育種の実用化に向けた家畜の選抜について検討を行っています。

【ターゲットとする形質】

- 乳用牛の疾病抵抗性 等
- 肉用牛の飼料利用性・食味
- 豚の産肉性・繁殖性
- 鶏の卵質・産肉性・外貌



DNAマーカーの分析



羽色と遺伝子解析情報との関連

◆ 食肉の食味に関する客観的評価手法の開発

消費者ニーズに対応した家畜改良やおいしい食肉生産を推進するため、食肉の官能評価と理化学分析の関連性について調査し、脂肪酸組成などの新たなおいしさの指標に関する検討を行っています。また、和牛肉の輸出拡大に貢献するための調査研究にも取り組んでいます。



食肉の官能評価



食肉の理化学分析



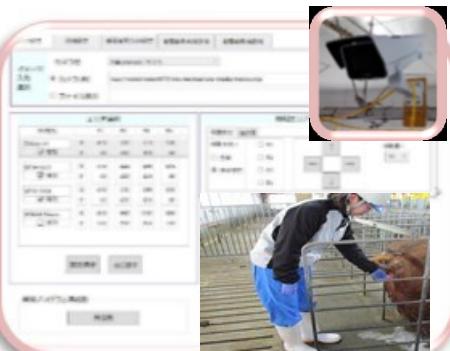
海外での嗜好性調査

◆ 改良増殖への繁殖技術の応用

生産現場で利用可能な豚胚の移植技術等の改善、豚の繁殖管理に役立つスマート畜産の実証、牛の育種改良のための効率的な胚生産技術等の開発に取り組んでいます。



豚舎で行える非外科胚移植技術



カメラ画像を用いたスマート畜産による豚の繁殖管理



経腔採卵と体外受精を応用した効率的な牛の胚生産技術

◆ 黒毛和種の新たな肥育技術の実証

生産費用や環境負荷の低減等のため、黒毛和種の短期肥育技術の実証や、繁殖牛の有効利用に向けた肥育技術の開発に取り組んでいます。



出荷月齢 26 か月齢の短期肥育技術の実証



繁殖牛の肥育技術の開発

◆ 放射性セシウム低吸収草種の栽培実証

原発事故により影響を受けた被災地の畜産の復興を支援するため、放射性セシウムの低吸収牧草による簡易な栽培管理手法の実証に取り組んでいます。



放射性セシウムの低吸収な牧草



放射性セシウム低吸収牧草の簡易な栽培管理手法の実証

牛の個体識別（トレーサビリティ）業務

◆ 牛の個体識別業務

牛肉のパッケージなどに表示されている個体識別番号から、牛の生産履歴（牛の出生からと畜されるまで）を検索することができます。家畜改良センターでは、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」に基づき、牛の生産履歴のもととなる牛個体識別台帳（データベース）を作成、記録、保存し、その情報の公表を行っております。

このことにより、国産牛肉の信頼性確保に努めています。



国内で飼養する全ての牛の両耳に
耳標を装着し、個体識別を実施

◆ 牛の個体識別情報の検索

当センターホームページの「牛の個体識別情報検索サービス」にアクセスし、10桁の数字を入力して検索ボタンをクリックしてください。

その牛の情報をみることができます。

URL <https://www.id.nlbc.go.jp>

English <https://www.id.nlbc.go.jp/english>

携帯電話用 <http://www.id.nlbc.go.jp/CattleSearch/mobile>



牛の個体識別情報

出生の年月日・雌雄の別・母牛の個体識別番号
種別（品種）・飼養場所の履歴

牛の個体識別番号10桁(半角)を入力して検索ボタンを押してください。

検索

【個体情報】

個体識別番号	出生の年月日	雌雄の別	母牛の個体識別番号	種別
1012345678	2014.05.15	メス	1087654320	黒毛和種

【異動情報】

No.	異動内容	異動年月日	飼養施設所在地		氏名または名称
			都道府県	市区町村	
1	出生	2014.05.15	○○県	□□□	
2	転出	2016.08.22	○○県	□□□	
3	搬入	2016.08.22	△△県	○○市	
4	搬出	2016.08.23	△△県	○○市	
5	搬入	2016.08.23	△△県	○○市	
6	ヒ寄	2016.08.23	△△県	○○市	

Cattle Individual Identification Number Infomation

The Individual Identification Number Infomation

The Individual Identification Number needs to be ten figures.

Note: search is limited up to 50 times per one access.
Please re-enter the Site to continue the search over 50 times.

(2016/08/03)

Individual Identification Number	Date of birth	Gender	The Individual Identification Number of maternal parent	Breed
1346385325	2014/06/21	Male	0242375027	Japanese Black

No.	The prefecture where the cattle were raised	Contents of transfer	Date of transfer	The location of the raising facilities	The name or title
1	FUKUSHIMA,JAPAN	Birth	2014/06/21		
2	FUKUSHIMA,JAPAN	Move-out	2014/06/21		
3	FUKUSHIMA,JAPAN	Move-in	2014/06/21		

輸出促進に対応するため
英語による検索サービスも実施

飼料作物種苗の増殖・供給と検査

◆ 飼料作物種苗の生産・供給

日本の気候風土に適し、高収量性、病害抵抗性、耐倒伏性等の特徴を持つ飼料作物優良品種の普及を図るために、飼料作物種苗の増殖及び供給、飼料用稻種子の生産を行っています。



コンバインによる種子の収穫



飼料用稻種子の保管

◆ 飼料作物優良品種の普及支援



地域適応性の検定試験



飼料生産技術等に係る講習会

優良品種の育成・普及を支援するため、草地管理技術や飼料生産技術等に関する講習会の実施、地域への適応性等を検定する試験や実証展示ほ場の設置を行っています。

◆ 飼料作物の遺伝資源の保存



遺伝資源の保存

飼料作物の多様な遺伝資源を確保するため、関係機関と連携しながら、種子増殖・栄養体保存を行っています。

◆ 飼料作物の種苗検査(OECD品種証明制度)

種子の品質を保証する国際的な仕組み(OECD品種証明制度)に基づき検査・証明を行っており、飼料作物種子では国内唯一の実務機関です。長野支場は、高い技術水準が認められたISTA(国際種子検査協会)認定検査所となっています。



異種子検査



OECD証明ラベル

技術の普及・指導

◆ 研修会、講習会等の実施

研究機関等で開発された技術を生産現場に普及するため、国、都道府県や団体等からの依頼に基づき、本所内の中央畜産研修施設や各牧場において、中央畜産技術研修会、個別研修及び海外技術協力等の研修を実施しています。



中央畜産研修施設(本所内)



飼料自給率向上のための研修会

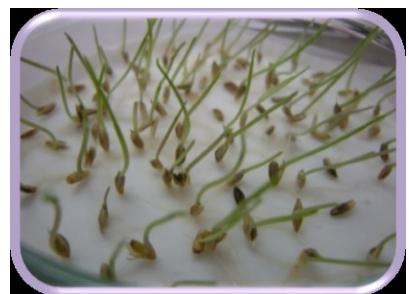


海外からの研修員の受入れ

検査の実施

◆ 法律に基づく検査の実施

- ・家畜改良増殖法
 - ・種苗法
 - ・遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律
- に基づき、表示事項や生産・流通等の確認のため、職員が立入検査等を行っています。



指定種苗の発芽率検査

人材・資源を活用した外部支援

◆ 家畜伝染性疾病や自然災害発生時における支援

畜産に関する緊急的な人的支援、悪性の家畜伝染性疾病や自然災害が発生した時に、影響を被った地域で一時的に不足する家畜や粗飼料等の支援に積極的に取り組んでいます。



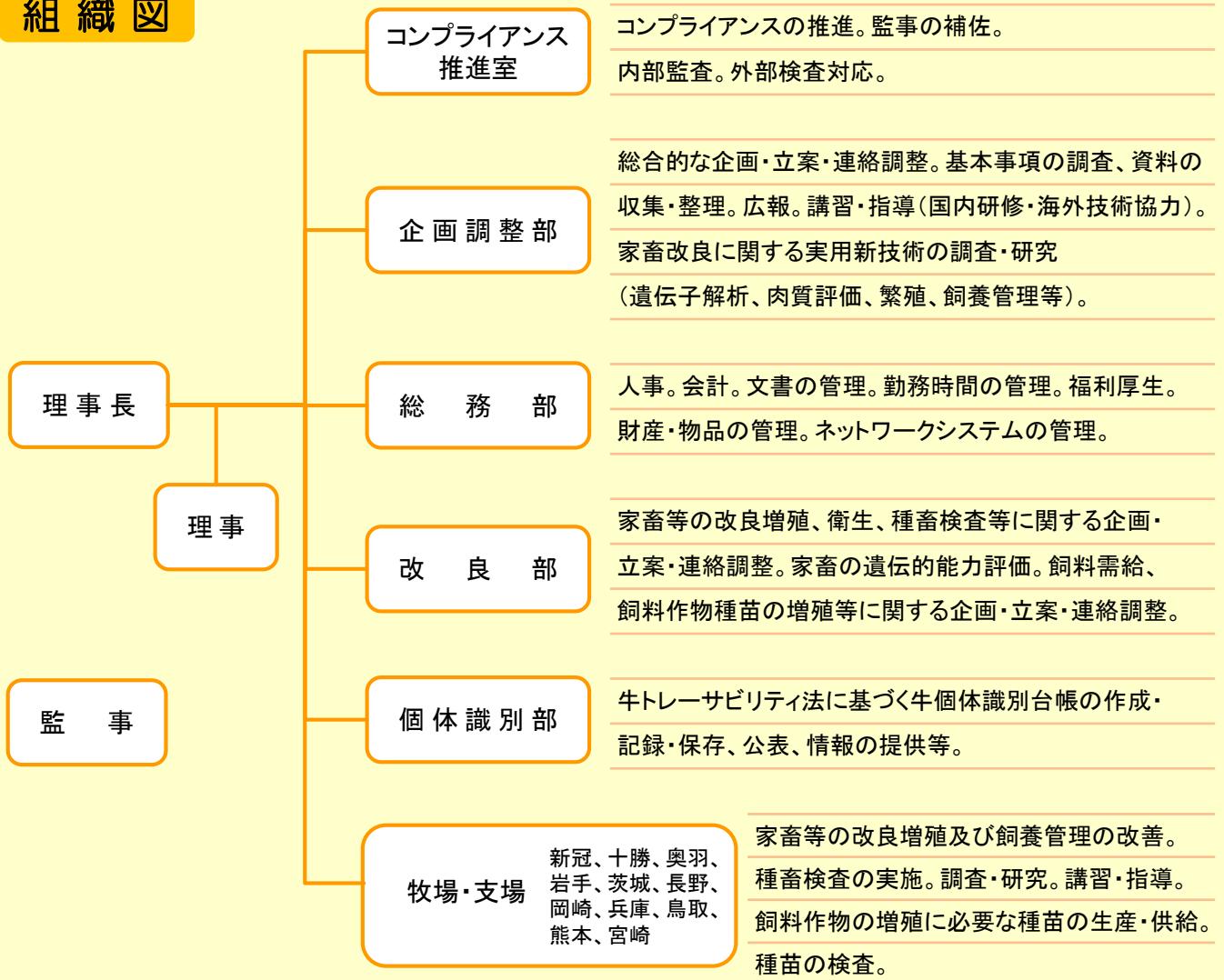
緊急時における粗飼料等の支援

沿革

明治 5年	●北海道日高管内に開拓使所管牧場の設置	} などが起源
明治29年～	●馬の改良増殖等を行う種馬牧場・種馬所の設置	
昭和 2年～	●鶏の改良増殖等を行う種鶏場の設置	
昭和21年～	●農林省種畜牧場として、再編 ●乳用牛、肉用牛、豚、鶏、馬、めん羊、山羊の改良増殖等を実施	
平成 2年	●発展の著しい畜産新技術を活用した効率的な家畜の改良増殖等を推進する主体として家畜改良センターを設置 ●相互に独立していた種畜牧場をセンターの内部組織に位置付け、体制を強化	
平成13年	●特定独立行政法人家畜改良センターに移行	
平成18年	●独立行政法人家畜改良センターに移行	
平成27年	●独立行政法人制度の改正に伴い、中期目標管理法人に再編	



組織図



独立行政法人 家畜改良センター

〒961-8511(大口事業所個別番号) 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1番地
TEL.0248-25-2231(代)・0248-25-6162(企画調整課) FAX.0248-25-3990
<https://www.nlbc.go.jp/>

